

熊野古道世界遺産登録15周年フィナーレイベント



KUMANO KODO Festa

日時 **令和元年 12月21日 (土)**
13時～16時15分

場所 **熊野市文化交流センター (熊野市井戸町643-2)**

15周年の集大成として、子どもや若者たちが主役となるフィナーレイベントを開催し、熊野古道の価値を、次の世代へ守り、伝えていくために、できること、しなければならないことを考えます。

松本峠から見る七里御浜の眺め

■プログラム

13:00～13:30

オープニング

- 1 木本高校吹奏楽部の皆さん：「熊野古道賛歌」
- 2 紀宝町内の小学生の皆さん：「熊野水軍子供太鼓」



木本高校吹奏楽部

13:30～13:40

開会、貢献企業への感謝状贈呈



刀鍛冶

13:40～14:30

取組報告

「みんなに伝えたい。私たちの感動！」

- 1 「紀州鉾山と入鹿鍛冶」
- 2 「ウミガメの甲羅磨き」
- 3 「Kumano Kodo tour」
- 4 「熊野のミリョク、見つけよう！ 熊野探索 2019with 木本高校」
- 5 「神祭・港まつりのカツオ神輿」



ウミガメ



Kumano Kodo Tour



カツオ神輿

14:40～15:55

パネルディスカッション

「次の世代に伝えるために私たちができること」



熊野水軍子供太鼓

15:55～16:05

次世代継承宣言

取組報告の発表者の皆さんが「私たちの熊野古道次世代継承宣言」を行います。

16:05～16:15

エンディング

DANCE TEAM M's の皆さん



DANCE TEAM M's

※手話通訳等が必要な場合は、事前に問い合わせ先までご連絡ください。

主催：三重県 共催：熊野古道世界遺産登録15周年事業実行委員会

パネルディスカッション

テーマ 次の世代に伝えるために私たちができること

子どもや若者たちの報告を受け、様々な立場の方から、熊野古道をはじめ、地域の持つ魅力や価値を次の世代に伝えていくために、私たちができること、していかななくてはならないことをお話いただきます。

◆パネラー

にしらのりひろ
西村訓弘さん
三重大学副学長

1987年筑波大学生物応用化学専攻卒業後、民間企業のバイオ分野の研究員、バイオベンチャー企業の社長を経て、2004年に三重大学医学系研究科の特命教授、2007年1月からは医学系研究科教授に。2013年4月から副学長を兼務し、2016年4月から三重大学地域イノベーション学研究科教授に就任、2018年7月から地域創生戦略企画室プロジェクト企画部門長を兼務。専門はトランスレーショナル医科学、地域イノベーション学。

しばやま れん
芝山 廉さん
大学生

大学生。尾鷲市出身。
小・中学生の頃は、学校の遠足で東紀州周辺の熊野古道を歩く、子ども会でツデーウォークに参加するなど、世界遺産に関わりのある多くの体験をする。高校進学の際、地元を離れて下宿したことから、今まで当たり前だと思っていた地元の魅力に気づく。大学進学に伴う県外での生活を通して、地元だけでなく三重県全体を活性化したいと感じるようになり、来年の就職を機に三重県に戻ることにした。

◆進行 南部地域活性化局長 伊藤久美子

うすの
植野めぐみさん
イラストレーター

絵地図作家。津市出身。
学生時代に自転車による日本縦断、熊野古道全道踏破を経験したことを機に人力の旅に惹かれ、日本国内、海外の「古道」を求め、熊野古道はじめ四国八十八箇所、サンティアゴの巡礼道、チベット街道など各地に足跡を残す。熊野古道ガイド、三重県文化振興専門員などを経て、現在は旅で見てきた地形や風土を表現する絵地図作家として活動中。津市在住で、紀伊半島全域、四国を活動エリアとしている。

ひらじま たいが
平嶋大雅さん
高校生

大阪出身、沖繩育ち。現在木本高校3年生。
熊野の魅力やSNSを通して発信する活動「Discovery熊野」を立ち上げ、運営中。今年5月にはクラウドファンディングで資金を集め、高校生を対象にしたフォトコンテスト「高校生から見た熊野」を開催。応募のあった183点から来場者の投票によって決まった計5点の入選作品は商品化し、現在熊野市内外で販売している。なお、売り上げは全額作品が撮影された地域に寄付される。

取組報告「みんなに伝えたい。私たちの感動！」

① ぱりすごいで！世界遺産塾「紀州鉾山と入鹿鍛冶」

熊野市紀和町にあった紀州鉾山では、奈良時代から数々の鉾石が採掘され、入鹿(いるか)地区には入鹿鍛冶という優れた伝統を有する技術があったと伝えられています。紀和鉾山資料館で紀州鉾山や入鹿鍛冶の刀剣に関する歴史の学習をし、同市五郷町の刀鍛冶工房で刀剣の製作風景などを見学しました。

② ぱりすごいで！世界遺産塾「ウミガメの甲羅磨き」

七里御浜の一部で自然が美しく残る紀宝町の井田海岸には、アカウミガメが産卵にやってくることで知られています。ウミガメの保護や啓発活動の拠点となっている道の駅紀宝町ウミガメ公園で、ウミガメについて事前学習をし、ウミガメのエサやりや甲羅磨き体験にて、ウミガメと楽しく触れ合いました。

③ 尾鷲高校生企画「Kumano Kodo tour」

尾鷲高校生が自ら案内人となり、地域の魅力を伝える外国人向けのツアーを企画、開催しました。ツアーでは美しい石畳とヒノキ林が見どころの馬越峠を歩き、地元の旬にこだわった郷土料理のランチバイキングを堪能、尾鷲ヒノキを使った木工体験を行うなど、尾鷲の魅力を体感してもらいました。

④ 木本高校生企画「熊野のミリオク、見つけよう！ 熊野探索2019with木本高校」

熊野市には、松本峠をはじめ花の窟や獅子岩など、様々な魅力があります。木本高校生が地域の魅力を多くの人に知ってもらうために、高校生自らが案内人となって皆さんをご案内するフォトツアーを実施しました。インスタントフィルムカメラを使用し、「最高の熊野」を撮影していくフォトツアーです。

⑤ 南伊勢町在住の小学生：「神祭・港まつりのカツオ神輿」

南伊勢町宿田曾地区は、かつてカツオ一本釣りの遠洋漁業で栄えたまちでした。今も神社では大漁祈願の祭りである「神祭・港まつり」を行っており、カツオ神輿や船神輿が勇壮に地区内を練り歩きます。子どもたちも伝統を受け継いでカツオ神輿を担ぎ、大人たちと一緒に祭りを盛り上げます。



熊野ありこさん



古道ありおくん

ファイナレイベント「KUMANO KODO Festa」のクラウドファンディングによる寄付金募集中

募集期間 令和元年12月20日(金)まで

寄付の方法等 県ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/FURUSATO/index.htm> から寄付の申込をお願いします。

・クレジットカード、コンビニエンスストアでの端末利用、ペイジーにより寄付が可能です。

・寄付は、1,000円以上、千円単位でお願いします。 ・自治体への個人からの寄付については、ふるさと納税制度が適用されます。



アクセス 駐車場案内

会場
熊野市文化交流センター



- ①文化交流センター駐車場
- ②熊野市駅前駐車場
- ③熊野市馬留駐車場

をご利用ください(無料)